



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度

国際ロータリーのテーマ

地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度

RI会長 レイ・クリンギンスミス

創立：1980年(昭和55年)1月10日
 会長：田中 隆義
 事務局長：加納 裕
 クラブ委員長：梅村 昌孝
 例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号

TEL：052-211-3803

FAX：052-211-2623

MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1497回例会

～識字率向上月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2011年3月17日(木) 曇 第34回

司会：鈴木健司会場委員

斉唱：「四つのテスト」「それでこそロータリー」

ビクター：名古屋RC 那須國宏さん

会長挨拶

田中隆義会長

3月15日の台北延平RC34周年記念例会に出席するため、会員16名、家族6名、計22名で参加して、昨日帰ってきました。いつものように盛大な例会で、私達は非常に歓迎されました。台湾の方々は今回の地震を非常に心配して下さいました。向こうのテレビでも、1日中日本の地震を放送していました。台北延平RCから瑞穂RCと茅ヶ崎RCに義援金を頂くことになり、1週間以内に届く予定になっています。その義援金と共に瑞穂RCとして何が出来るのかを検討します。その時は皆さまのご協力を得たいと思いますので、よろしくお願いします。



今回の地震で皆さまのご家族、ご親戚、知人の方は大丈夫だったでしょうか。安否の分からない方が沢山いらっしゃって、まだまだ大変だと思います。私の息子は第一赤病院に務めており、3月13日から医療援助として愛知県医療班の第2班として派遣いたしました。息子は本日帰ってくる予定で、先程ようやく岐阜に着いたと連絡がありました。行き帰りとも車でしたが、福島県の原子力発電所の影響を考え、帰りは新潟経由になったそうです。現地の被災者の方は朝夕おにぎり一つずつだけで、やはり物資の不足がひどいようです。毛布も少なく、とにかく早く支援物資が欲しいと言っていたそうです。薬についても、処方箋があれば良いのですが、ほとんど無く、これから処方するのも大変な問題になるようです。石巻には14ヶ所の避難所がありますが、その中には遮断されて行けない場所もあります。そういう避難所には人も行きませんし、物資は届けられていません。自衛隊の方も、亡くなってしまった人にかまう余裕はなく、少しでも生きている人を助けようと救助にあたっているそうです。行政はうまく稼働せず、避難所になっている学校の先生方が世話をしている状態ですが、先生方も被災者です。今後はそういう方々のケアが必要になってくると息子は言うておりました。

これからまだまだ長期戦になると思います。皆さまの会社関係もこれからが大変でしょう。台湾から帰る時に、「日本、頑張れ!」という言葉をいただきました。実際にこれからが本当に大変だと思います。皆さま、くれぐれもご自愛下さいませようお願い致します。

幹事報告

加納裕幹事

- ・本日メールボックスにヒルトン名古屋より「お知らせ」を入れています。地震の際のマニュアル等が書かれていますのでご一読下さい。
- ・次週3月24日(木)16:00～18:30、9階「ことぶきの間」にて第7回地区大会実行委員会、18:30より15分ほど同会場にて義援金に関する臨時理事会、19:00より4階「桜の間」にて名古屋瑞穂RCと名古屋熱田RACの合同例会を行います。

ニコボックス

高木元明ニコボックス委員

- ・①3月11日の大地震では東京都内で会議中で、帰宅難民になりました。被災者には心からお見舞い申し上げます。
- ・②3月13日から台北延平RCを訪問し、友好を深めてきました。
本多 清治さん
- ・東北関東大地震に遭われた方々にお見舞い申し上げます。頑張ってください。
近藤 雄亮さん
- ・台北延平RC34周年記念例会に参加してきました。参加された皆様、お疲れ様でした。
東北関東大地震お見舞い申し上げます。 田中 隆義さん
- ・台北行きキャンセルで申し訳ありません。仙台店はスタッフ、家族全員無事です。ご心配お掛けしました。 鶴田 浩さん
- ・来週から単身赴任となります。家族が被爆しないことを祈ります。
西沢 功晋さん
- ・3月16日は誕生日でした。いくつになったか忘れてしまいました。台北延平RC訪問の際は大変お世話になりました。ありがとうございました。
伊藤 豪さん
- ・東北関東大地震お見舞い申し上げます。台北延平RC34周年記念式典に行ってきました。今回出席されました瑞穂RCのメンバーと台北延平RCの皆さんには大変お世話になりました。
市岡 正蔵さん
- ・東北関東大地震の震災に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。今日は卓話をさせて頂きます。よろしく申し上げます。
関谷 俊征さん
- ・東北関東大地震のお見舞い申し上げます。当社の得意先の日本酒蔵元もかなりの被害です。新潟営業所より救援隊を出しました。
増田 盛英さん
- ・被災された方々にお悔やみします。また台北延平RC34周年に行ってまいりました。感謝します。 加納 裕さん
- ・東北関東大地震被災者の方、心からお見舞い申し上げます。本日都合により早退致します。 稲葉 徹さん
- ・地震による被害がなかったことを感謝して。 森 恒夫さん
- ・東北関東大地震お見舞い申し上げます。

岡本 忠史さん 田中 政雄さん
 長坂 邦雄さん 入山 治樹さん

会員66名 出席44名 (出席計算人数51名)

出席率 72.1%

3月10日は補填により91.1%

委員会・同好会報告

親睦活動委員会:近藤茂弘副委員長

4月10日に行われる「春の家族会」のお土産についてご連絡致します。今回は関谷酒造の大変貴重な日本酒2本セットです。来週メールボックスにパンフレットと申込書を入れます。締切は3月31日になります。家族会に出席しない方も申し込みます。

国際奉仕委員会:市岡正蔵委員長

3月13日台北延平RC34周年記念式典の報告です。突然の大地震の影響で急遽メンバーが減り、総勢22名での参加となりました。台北延平RCの皆様の歓迎ぶりには大変感謝しています。地震に対してのご心配と励ましの言葉をたくさん頂きました。改めて台湾の方の日本への友好な気持ちを再認識致しました。

米山功労賞



米山功労賞が贈られました市岡正蔵さんに、田中隆義会長より表彰状が贈呈されました。

卓話

会員 関谷俊征さん

ボウリングの歴史



私は仕事でボウリング場の経営をしています。岐阜県岐阜市の隣、以前は穂積町でしたが市町村合併で今は瑞穂市となった場所にあります。ワンフロア60レーンあり、規模は岐阜県で一番大きいボウリング場です。

ボウリングの歴史を調べてみますと、紀元前5200年頃の古代エジプトの墓

からボウリング用品と思われるボールとピンが発掘されました。そして紀元前200年頃、ギリシャ人、ローマ人がボウリングを楽しみ、欧州全般に広がりました。元々ボウリングはボールで倒すピンを災いや悪魔などに見立てて、それをたくさん倒すことができるとその災いから逃れられるという一種の宗教儀式として生まれたものです。中世にはヘンリー8世英国王(1492~1547)が、宮殿の中に特設レーンを作り楽しんだことが文献に残っています。宗教改革を行ったマルチン・ルター(1483~1546)もボウリングを楽しんだそうです。新しくアメリカ大陸が見つかり、1611年、新大陸を目指した欧州からの移民達がボウリングを米国に持ち込みました。これはアメリカのバージニア州ジェームスタウンに記録が残っています。この当時のボウリングはダイヤモンド形に9本のピンを並べていたので、ナインピンと呼ばれていました。しかし1841年、ナインピンの禁止令が出ました。なぜ禁止令が出たかという、大衆の人気の過熱から博打性を帯びたからです。博打ゲームとして行われ、賭博師も出てきました。賭け事としてのボウリングが行われる世の中の状況に猛反対し、強烈に批判したのが清教徒の指導者たちです。その結果、禁止令が出されました。しばらくの間は世の中からナインピンは姿を消したそうですが、愛好家達はボウ

リングそのものを忘れることはできませんでした。なんとかボウリングがしたいと思った人達は、9本のピンで行うナインピンが禁止なら、10本のピンで行えば法律に触れないと考えたのです。その結果、禁止令をかわす形で、現在のボウリングのセットアップの形である三角形に10本のピンを並べるテンピン・ボウリングが誕生しました。1874年にはジョセフ・スラムがニューヨーク、グリーンウィッチ街サロンの地下室で初のボウリング場の経営を始めました。1895年9月9日、ABC(米国ボウリング協会)が設立され、正式に10本のピンで行い、12ゲーム300点パーフェクトという現在行われているものと同じルールに統一されました。その頃から約半世紀の間は『ピン・ボーイ』と呼ばれる人の手によってピンをセットしていました。アメリカではアルカポネやレーガン元大統領も若い頃にピン・ボーイのアルバイトをしていたという話が残っています。

日本国内のお話をしますと、1952年12月、民間第一号のボウリング場「東京ボウリングセンター」が開業しました。2交代制50人のピン・ボーイによる手動式で20レーンあったそうです。しかし1953年にはアメリカでAMF製の自動ピンセット装置ができ、ピン・ボーイはその役目を終えたのでした。そして日本でも自動ピンセッターを導入したボウリング場が、1961年6月「東京後楽園ボウリングセンター」、同年7月「大阪ボウリングセンター」とできていきました。1967年1月、「日本プロボウリング協会」が設立され、男子プロ第1期生として19名が誕生しました。それに遅れること2年、1969年9月、女子プロ第1期生13名が誕生しました。有名な方を紹介しますと、もう亡くなられました須田開代子さんや現在プロボウリング協会の会長を務め、いまだに第一線で活躍されている中山律子さんはこの第1期生です。高度経済成長期に後押しされるようにボウリングブームが始まり、日本中至る所にボウリング場が乱立しました。しかしオイルショック直前の1972年、経済原則を無視した超過密期を迎え、その後衰退していきます。1972年に3000ヶ所あったボウリング場が800ヶ所にまで減りました。ちなみに現在は1000前後のボウリング場がございませう。そうして自然淘汰されていき、ボウリング業界は次第に安定していきました。1980年代にオートスコアであるコンピュータ・ボウリングが普及していきます。この頃、業界ではボウリングがレジャーなのかスポーツなのかハッキリさせようという動きが始まりました。国内で安定した業態を求める為にはスポーツとしての認知を得ることが大事だという話になり、その流れから1983年に全日本ボウリング協会(JBC)が日本体育協会に加盟しました。そして1988年、第43回京都国体で初めて正式種目として「ボウリング競技」が開催され、それ以降正式種目として続いております。愛知県でも1994年、第49回愛知国体「わかしゃち国体」の時に「星が丘ボウル」が会場になりました。また来年2012年、第67回岐阜国体「ぎぶ清流国体」の時には、私共の「岐阜グランドボウル」が会場に決まり、たいへん名誉なことと思っております。

スポーツというものはプロが流行らないとアマチュアスポーツも流行らないという考え方は私の考えですが、今後は魅力のあるプロを応援して育てていき、ボウリング業界を繁栄させたいと思います。

例会のご案内

■今週の行事 3月24日(木) RACとの合同例会

場 所: ヒルトン名古屋4階「桜の間」
時 間: 19:00~20:30

■次週の卓話 3月31日(木)

会 員: 高村博三さん
テ マ: 地区大会準備状況

■次々週行事 4月7日(木) 1500回記念例会

場 所: ヒルトン名古屋4階「桜の間」
時 間: 18:00~20:00